

(別添5)子育てサポーター育成講座事業結果

回	ねらい	内容および講師	参加者	結果
1	発達障がい の基本的知識 を持つ。	開講式 「発達障がい児の理解と対応について」 徳島赤十字病院小児科 高橋昭良先生	33名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員15名のところ、約40名の受講申し込みがあったが、1~2回目の講義については希望者全員に受講していただくことになった。</li> <li>・高橋先生の講義は発達障がいの基本的知識から対応まで、資料に沿ってわかりやすく説明していただけ、受講者の理解が深まったと思われる。</li> </ul>
2	関わり の基本。保護 者の心情を理 解する。サポ ーターとして の役割を認識 する。	①「発達障がい児との関わりについて」 発達障害者支援センター 荒木圭祐先生 ②「保護者の理解」 阿南那賀心身障害児親の会 (太陽の会)会員	29名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義①については、発達障がい児への基本的な関わり方を簡単に説明後、事例を中心に幼児期~青年・成人期に至るまでの経過と支援について、また、その際の大切なポイントについて説明していただいた。後の質疑応答でも、今後の要望も含めて参加者から意見が出されていた。</li> <li>・講義②については、当日、太陽の会会員の出席が難しいとのことで事前に項目に従って原稿を書いていただいていたため、手元資料として原稿を渡し、講義終了後回収する形で代読した。障がいを持つ子どもさんを育ててきた保護者の生の声として参考になったと思われる。</li> </ul>
3	実践の場	イベント参加(阿南那賀心身障害児親の会クリスマス会)  *「陽だまり」「太陽の会会員」との交流	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場準備から後片付けまで一緒にしていただいたのと、クリスマス会では一人一家族に付いてもらい子どもや保護者との交流をしてもらった。</li> <li>・仕事や役割上、普段から場慣れしているため、進んで自分のやるべき事を見つけ積極的に参加されていた。</li> </ul>
4	実践の場	「楽しく遊ぼう!!」 小松島療育センター 杉本ひとみ先生  *「陽だまり」との交流	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターには補助的に親子についてもらう形で参加してもらった。サポーターにより親子への関わり方の積極性に差はあったが「勉強になった」「仕事の場で活かしたい」等の声が聞かれた。</li> <li>・「陽だまり」参加者と地区活動をしているサポーター、小松島療育センターとの顔つなぎの場ともなり今後の関係に繋げることができた。</li> </ul>